



●稲敷市・姉妹都市交流委員会広報紙●

姉妹都市

— 世界は君を待っている —

Sister Cities



サーモンアーム

No. 13
2008. 3



東京見学でふれる日本の文化

▲桜満開の江戸東京博物館

～桜並木をバックにみな満面の笑顔～

平成19年3月稲敷市ではカナダのサーモンアーム市から26名の一行を迎えました。夏にはサーモンアーム市へ26名を派遣しました。調印から2年、姉妹都市の交流は順調に始動しました。

さて、ゲストの日本訪問の楽しみの一つはなんといってもディズニーランドと東京見物でしょう。ディズニーランドでは思いきり自由行動を楽しみ、その後は首都東京を見物するという1泊2日のこのコースは、同行する

ホストにとっても人気のコースです。

表紙の写真は、江戸東京博物館で桜並木をバックに撮った思い出の一コマです。日本の伝統文化が凝縮されている博物館と日本の美しさを代表する花「桜」からカナダの生徒達は一体何を感じたのでしょうか。

交換交流は形に見えない「心」の交流でもあります。若者達が「心」を大切にグローバルな視野に立って未来を見つめてほしいと思います。笑顔を忘れずに。



素晴らしい友

派遣団長 市村 修一

第3回青少年親善大使の団長として大変貴重な体験ができましたこと、関係各位皆様方に心から感謝申し上げます。私たち26名の親善大使は、楽しい時間を過ごし、ためらわず自分の考えを表現し、他の人の言葉に素直に耳を傾けることができるようになったと思います。言語や風俗習慣が違っていても、心を開いて付き合えば分かりあえるということを学んだ体験は大変大きいものでした。この素晴らしい交流をますます発展させていきたいものです。



コロンビア大氷原見学



成田山新勝寺の境内で



うれしはすかし対面式



英語でスピーチ



湖のほとりてバーベキュー



友情の門の前で



粘土で思い出のものづくり



スリルいっぱいのラフティング

出逢いの歓びと温もりを...

派遣 (H19.8.17~8.27)

第3回 稲敷市青少年親善大使海外派遣団

団長	市村 修一 (新利根中学校校長)
指導員	平賀 和明 (江戸崎中学校教諭)
	藤田美由紀 (東中学校講師)
親善随行者	小川 喜三雄 小川 成子
小泉 圭司 (中3 福田)	坂本あかね (中1 上之島)
浅野 彩夏 (中3 西代)	根藤 光 (中1 須賀津)
青野 仁美 (中1 四箇)	黒田 葵 (中1 浮島)
山田 真実 (中2 浮島)	日下部 瞳 (中2 浮島)
小貫 智晴 (高1 浮島)	黒田 和輝 (高1 浮島)
廣瀬美紗紀 (高2 市崎)	飯野 琴美 (中3 江戸崎)
張替あんな (中3 江戸崎)	糸賀 英美 (中1 三次)
坂本 彩 (中1 四箇)	松田 梨花 (中1 岡飯出)
根本 明美 (中2 須賀津)	仲内沙耶香 (中2 飯出)
小野瀬優一 (中2 柴崎)	山口 克斗 (中2 下根本)
篠塚奈津紀 (高2 下太田)	

受入れ (H19.3.25~4.1)

第2回 受入れホストファミリー名簿

池田 浩輔 (中2 柴崎)	木内 和希 (中2 福田)
薄井 基 (中2 境島)	足立 直紀 (中3 犬塚)
梶山 孝史 (高1 江戸崎)	中山 一樹 (中3 角崎)
手塚裕之介 (高1 伊佐津)	小貫 佑介 (高2 浮島)
寺田 純 (中2 太田)	黒田 奈樹 (中1 浮島)
呉東 都 (中1 江戸崎)	朝日 咲希 (中3 八筋川)
古山 睦 (中3 上根本)	甲賀あすか (中3 東大沼)
松田 麗 (中2 岡飯出)	根本 安里 (中2 神宮寺)
高城 沙織 (高1 上須田)	根本 彩花 (中3 橋向)
小島 結子 (中3 柴崎)	廣瀬美紗紀 (高1 市崎)
篠塚奈津紀 (高1 下太田)	岡野福次郎 (一般 伊佐津)
田口 善一 (一般 下太田)	小川喜三雄 (一般 光葉)
高城 鎮 (一般 上須田)	(※学年は受入時)

Inashiki



浅草でレトロな日本体験

東京見学



333m 東京タワーで



お土産いっぱい東京ディズニーランド

一派遣事業に参加してー

ー受入れ事業に協力してー

派遣時の主なスケジュール

- ・歓迎式
- ・「友情の門」見学
- ・ジャクソンキャンパス訪問
- ・ハウスポート
- ・ラフティング
- ・さよならパーティー
- ・パンフ観光
- ・コロンビア大氷原観光

小野瀬 優一

僕は派遣団の一員として、カナダを訪問しました。初めての海外なので、英語が話せるかどうかという不安がありましたが、カナダの人々が、優しく迎えてくれたので不安もなくなり、あっという間の滞在でした。機会があれば、また行ってみたいと思います。

廣瀬 美紗紀

サーモンアームの雄大な自然に囲まれてホストファミリーと過ごした日々は本当に楽しく、毎日が感動でいっぱいでした。カナダでできた友達や貴重な体験、すべての思い出が大切な宝物です。このような素晴らしい交流事業に参加できたことを、心から嬉しく思います。

受入れ時の主なスケジュール

- ・対面式
- ・中学校交流会 (江戸崎中学校)
- ・成田観光
- ・東京一泊研修
 - 東京ディズニーランド
 - 東京タワー、浅草見学
 - 江戸東京博物館
- ・さよならパーティー

篠塚 奈津紀

受入れをするのは初めてで、最初はとても不安でした。でも、すぐにうちとけ、何年も付き合ってきた友達のような存在になりました。今でもメールのやりとりをしています。この経験を通してさらに英語が好きになり、もっと国際交流をしていきたいと思いました。

木内 美江

我が家には元気でユーモアのある子がホームステイしました。お互い言葉の違いや生活の違い、また文化の違いはありましたが、それもいい経験となり楽しく8日間を過ごすことができました。一度受入をしてみてください。遠い国カナダが身近に感じられるはずですから。



〈プロフィール〉

サーモンアーム高等学校の教員として日本語教育にも携わり、サーモンアーム親善使節団の通訳員・カナダ側受入の事務局としても親善交流に尽力している。

写真左：Pamela Chudiak
右：Jaymie Chudiak

＜要旨＞

新しい友人、旧友との再会、美味しい食べ物、観光などは姉妹都市交流の楽しみですが、毎年の準備作業も楽しいものです。

昨年、娘のジェイミーと私は、一緒にこちらを訪問しましたが、そのときの感想を彼女に聞いたところ、素晴らしい友人もでき、これまで以上に日本のことを学び、ホストファミリーの皆さんとも生涯の友人となることができ本当に素晴らしい体験になったとのことでした。

ウッドロウ・ウィルソン（アメリカ第28代大統領）も“友情はこの世界を将来ともしっかりと結んでくれる唯一の絆である。”と言っています。

私は、この交流事業が両市の若い人達にとって絶好の機会であり、この事業を熱心にバックアップしている人達がいることを是非理解して欲しいと思います。

両市の行政当局、学校、市議会そして姉妹都市交流委員会の関係者の皆さんには、この事業の教育的な重要性を認識していただき、また、毎年の事業継続に人の面、財政の面からサポートしていただいておりますことに対し、この稿をお借りして感謝を申し上げます。

人生を変えたサーモンアーム

森田 菜保



中学、高校と英語が得意ではなかった私が、現在大学で国際関係を専攻しているのは、姉妹都市交流での体験があったからです。

私は、二度サーモンアームを訪れ、英語だけの生活、雄大な景色の中での乗馬やラフティングなど、

日本ではなかなかできない貴重な体験をさせていただきました。ホストファミリーとしても5回程受け入れ事業に参加し、異文化交流に更に関心を持つようになりました。また、この機会に出会った友人たちと英語で話したいという思いが、国際関係を学ぶきっかけとなったのです。

そして今年、職活動の面接の際に、私の大きなアピールポイントとなったのは、やはりこの体験でした。「あなたを成長させた体験は？」「あなたの性格をエピソードと交えて教えてください。」私は、自信を持って姉妹都市交流の話をしました。

“サーモンアームが私の人生を変えた”と言って良い程、私の進む道を決める大きなきっかけとなったのです。このような素晴らしい体験をさせて頂き、本当に感謝しています。今後益々、稲敷市とサーモンアーム市の交流が増え、いつまでも続くことを願っております。



2006年受入れ事業ディズニーランドにて

友情こそ絆

パメラ・フーディアック

Making new friends, visiting with old friends, eating good food and sightseeing in a beautiful country are all of the things that I look forward to as we prepare for our annual Inashiki/Salmon Arm Sister City Exchange. My daughter, Jaymie and I had the pleasure of visiting Inashiki last year and I asked her about her thoughts on the trip. She said, "Good food, good friends and great people! It was an all around great experience and I learned more about Japan by actually experiencing it." I know Jaymie has established life-long friends with her host family. This reminds me of a quote by Woodrow Wilson, "Friendship is the only cement that will ever hold the world together." I can't help but wonder if our young people realize how lucky they are to be able to participate in this wonderful opportunity and that we are truly blessed to live in two harmonious countries that are willing to foster such goodwill and friendship.

I would like to take this opportunity to thank the School District, City Council and all of the members of the Twinning Committees from each respective city for believing in the educational value of this exchange and for their personal and financial support which is needed to maintain this yearly program.

INFORMATION

○サーモンアーム市親善使節団来日

3月23日から3月30日までの間、カナダ・サーモンアーム市より親善使節団が稲敷市を訪れ、ホームステイにより市民の皆さんと交流を深める予定です。 見かけたら気軽に声をかけてください

○「友情の家」貸出し

交流の一環としてサーモンアーム市から贈られた「友情の家」（あすま生涯学習センター隣）では、バーベキュー等が楽しめます。利用希望者は、あすま生涯学習センター：0299-79-0053へお申し込み下さい。

○会員募集！あなたも国際交流しませんか？

稲敷市では国際交流に関わる各団体の会員を募集しています。

・姉妹都市交流委員会

姉妹都市派遣事業、ホームステイ受入事業など稲敷市の実施する幅広い姉妹都市（サーモンアーム市）との活動に協力し、民間交流活動を展開しています。

・稲敷市日中友好協会

筑波大学の留学生や市内に生活する中国の方々との交流活動や中国への訪問団派遣などの活動を行っています。

・日本語サークルかぼちゃ

毎週水曜日昼と夜の2回、市内及び近隣に住む外国人を対象に、日常会話を中心とした日本語を教える活動をしています。

※問い合わせ・申込みは企画課（029-892-2649）まで

○稲敷市ホームページをご覧下さい

稲敷市が姉妹都市交流委員会等の協力を得て実施する姉妹都市交流事業（海外派遣・受け入れ）の記録等については、稲敷市HP<http://www.city.inashiki.lg.jp/>内（部課→企画課）に掲載されております。

青少年親善大使派遣、サーモンアーム使節団受け入れの募集についても、広報紙と併せてホームページにて公募致します。

編集後記

■稲敷市初の訪問団派遣事業で、当時中学2年生の息子が貴重な体験をさせていただきました。その後、姉妹都市交流委員会の存在を知り入会したところ、広報委員にとのお話があり参加致しました。

昨年9月に市長を交えての歓談が開催され、役員・引率の先生方・会員との意見交換がありました。今後の国際交流に生かすことが出来る素晴らしい内容でした。これからもっと、市民の皆さんに情報を発信していきたいと思います。（中村）

■編集 稲敷市企画課国際交流担当
姉妹都市交流委員会広報委員